

平成28年度第5回太田地域協議会会議録

平成29年1月24日

太田地域協議会

平成28年度第5回太田地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■説明者	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
(1) 大仙市における今後の介護予防と生活支援体制について	3
(2) 平成28年度地域枠予算執行事業について	5
■報告	16
(1) 太田地域協議会委員（第4期）の選任について	16
(2) 平成28年度東部地区地域協議会合同研修会・交流会について	16
■その他	17
■閉会	19
■署名	20

平成28年度 第5回太田地域協議会 会議録

■日 時：平成29年1月24日（火） 午前10時02分

■会 場：太田支所 2階 会議室

■出席委員：11名

伊藤 勝良、大信田 孝文、柏谷 良雄、鈴木 栄子、
高橋 清一郎、高橋 文子、富木 勇、川原 猪利、
高橋 洋、根本 昇、水谷 英明

■欠席委員：4名

石崎 尚、高貝 恵子、小松 泉、小柳 真理子

■出席職員：11名

安達 成年（太田支所長） 谷口 藤美（市民サービス課長）
福原 幸二（市民サービス課参事） 加藤 栄子（市民サービス課参事）
煤賀 義博（農林建設課長） 煤賀 康典（太田公民館長）
黒澤 伸朗（農業振興情報センター主幹） 藤澤 寿史（地域活性化推進室主幹）
菅原 直久（地域活性化推進室副主幹）
高橋 由美子（地域包括支援センター東部主幹）
三浦 学（地域包括支援センター東部主席主査）

■説明者：1名

男鹿 貴美子（ちっちゃいもの倶楽部）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協 議
 - （1）大仙市における今後の介護予防と生活支援体制について
 - （2）平成28年度地域枠予算執行事業について
- 6 報 告
 - （1）太田地域協議会委員（第4期）の選任について

(2) 平成28年度東部地区地域協議会合同研修会・交流会について

7 その他

8 閉会

(午前10時02分 開会)

○安達太田支所長（以下「支所長」と表記）

それでは、定刻となりましたので地域協議会を始めさせていただきます。

本日の協議会は委員の2分の1以上が出席しておりますので、本協議会は成立いたしますことをご報告いたします。

それから、毎回のことですがけれども、会議録作成のため発言の際はマイクをご使用くださるようお願いいたします。

会議の進行につきましては、規定によりまして高橋会長の方をお願いいたします。よろしく申し上げます。

○高橋太田地域協議会会長（以下「会長」と表記）

今月もあと残り少なくなりました。大変遅くなりましたが、明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。またひとつよろしくをお願いいたします。

2月に入りますと学校の方では卒業式、そして今度は入学式、行政の方では年度末、年度始め、大変慌ただしく忙しくなってきます。考えてみますと1年というのは本当に早いものだなとつくづく感じるところでございます。また、こうやってお忙しい中ご出席いただきまして、本当にありがとうございます。

それでは、座らせていただきます。それでは、ただいまから平成28年度第5回太田地域協議会を開会いたします。

安達支所長よりご挨拶をお願いいたします。

○支所長

あらためまして、明けましておめでとうございます。今年もどうかひとつよろしく願いしたいと思います。年も改まりまして今年は酉年ということで、景気が良くなるのかなというふうな感じがいたします。先日、月曜日ですがけれども農協さんの主催で花卉部会の方で「花のまち太田」にふさわしく花の販売額1億円突破ということで新年から景気の良い話で盛り上がっているところです。農業部門、枝豆等はずっと1億円いていますし、最近の畜産関係、子牛の販売額、ここ2、3年高値で推移しておりますし、今は太田地域、ほ場整備をたくさん進めております。この調子で完成後にはこの地域みんなが潤うようにひとつ景気が上向けばなと思います。

ここに大信田委員がおりますけれども、大信田委員には本当に申し訳ないんですけど

も待望の雪が降りまして、大信田委員これから難儀しなければいけない部分が増えるかと思えますけれども、この地域どうしても雪で潤っていると言いますか、スキー場もありますし、ギリギリで冬休みが終わる前にスキー場もようやく動き出して、除雪の方々も仕事に精を出しているというふうな状況で。いろいろと除雪関係で地域の方々にご難儀をかけたりにご迷惑をかけたりにすることがあるかも知れませんが、この地域の特徴だということでもこれひとつご勘弁願いたいなと思います。

新年からちょっとおかしな話の方向に行きましたけれども、いずれ今年度も先ほど会長が申しましたとおりあとわずかでございます。委員の任期もあとわずかということですが、是非とも皆さんに委員を再度お願いしたいなということを今日のその他の方でもお話があるかと思えます。なんとかひとつ今後とも、この1年間よろしくお願ひしたいと思えますし、皆さんのこの1年が幸多きものとなりますようにご祈念申し上げまして、新年の協議会の挨拶に代えさせていただきます。どうかひとつ本日の協議会、よろしくお願ひいたします。

○会長

ありがとうございました。

早速ですが、次第の4に入らせていただきます。「会議録署名委員の指名」をさせていただきます。

会議録署名委員は、高橋文子委員、水谷英明委員にお願いいたします。

それでは、次第5の「協議」に入ります。

はじめに、「大仙市における今後の介護予防と生活支援体制」について、説明をお願いいたします。

○地域包括支援センター東部三浦主席主査

【大仙市における今後の介護予防と生活支援体制について説明】

○会長

ただいま、大仙市における今後の介護予防と生活支援体制について、地域包括支援センターから説明がありました。皆さんの方から本件に関してご質問若しくはご意見がございましたらお願いいたします。はい、大信田委員。

○大信田孝文委員（以下「大信田委員」と表記）

今説明を受けました。実は私、第1層の協議体の委員をさせていただいております、この件についてはいろいろと勉強させていただいております。それで、質問と言えばちょっとおかしいんですけども、来年度第2層の協議体を旧市町村ごとに設立して進むということですが、その進め方の部分で例えばどういう人が委員をやって、どういう活動なり計画なりを策定していくのかというのがちょっと私には見えない部分がけっこうあって。もしその辺の中身の部分で分かる部分がありましたらよろしくお願ひしたいと

思います。

○地域包括支援センター東部三浦主席主査

貴重なご意見ありがとうございます。大信田委員にはこれから難儀をかけますが、よろしくお願いたします。と言いつつ私も実は末端の職員でありまして、事務局が本庁の方の高齢班の菅原という者が担当してしまっていて、今後積み重ねていく会議の中では決まるとは思いますけれども、まだそのような話はちょっと私どもも受けていなくてですね、決まりましたらすぐにでもご連絡はさせていただきますが、ちょっと今時点では私の口からでは分からないところが多くて、嘘も言えませんが何卒ご了承願いたいと思います、申し訳ございません。

○会長

他にございませんか。はい、水谷委員。

○水谷英明委員（以下「水谷委員」と表記）

日頃からお世話になりまして、ありがとうございます。直接と言うわけではないんですけども、地域包括ケアシステム、介護とか福祉を進めるときに、北欧の方とかけっこう進んでいると言いますが、やっぱりあっちの方だと住民の人の、協働とか連帯とかという言葉が出てきますけれども、そういう住民の人の意識が最初から作られているような感じがあるようでした。いきなり今から私たちが勉強しても年をとってしまうんですけども、例えば今10歳の子どもたちが2025年だとするとあと8年ですのでその人たちは18歳になるんですね。2030年になると23歳くらいになるということで、おそらくその人たちが中心になっていくんじゃないのかなと思います。できれば今の子どもたちの頭の柔らかいうちからそういう福祉とか地域を作っていくような、そういう教育を学校の中でやっていけるような働きかけとかがあれば、今すぐには出てこないかも知れないんですけども、後々こういうものを進めるに当たりかなり力になるんじゃないのかなと思いますので、子どもの教育についても是非市長さんとかに進言していただければと思います。

○地域包括支援センター東部三浦主席主査

どうもありがとうございます。確かに私どもの話の中でも、実際この説明の中では「高齢者が自主的に」とか云々とかというのはあるんですけども、今言ったように子どもの今からの教育というようなことは触れていなくて、やはり私も水谷さんと同じ考えで、個人的にですが子どもの頃から福祉ということ、今までにはない少子化の問題であってお年寄りが増えて行くという中で、やはりそこで意識改革していかないと後は煮詰ってしまうということは重々思っていますので、私もいい年になってきたので若い人たちに委ねるといこともあると思いますけれども、その考え方は常に持って行動したいなどは思っています、個人的な意見ですけども。どうもありがとうございます。

○会長

水谷委員、貴重な意見ありがとうございました。他にございませんか。

○支所長

すみません、よく分からなくて聞くんですけども、今までの介護、要支援とか要介護1・2・3・4・5とかあるんですけども、それとはまた違う仕組みなんですか。

○地域包括支援センター東部三浦主席主査

ちょっとこれでも触れているんですけども、特定高齢者と言ってちょっと要支援になってしまうかなという人と、現に要支援1・2の方々なんですけれども、今までは国が全部介護保険という部分で拠出して、お金を出してやっていたのが、今後はやる気のある高齢者の方とかボランティアの方々が、例えばごみ出しとか掃除というのは素人でもできるわけですよ。そういうものに参画することによって、一つは積極的になることによって介護予防できるということと、あとはお金の方、国がもうそこでストップしてそういうふうにはボランティアで賄いなさいと、私の言い方が悪いんですけども、そういう方向に進んでいますので、考え方によれば要支援になるというよりもみんな、できる人は介護側に回ってもらえばますます元気な高齢者でいられるという、そういう考え方のようなのです。地域のみみんなで頑張りましょうという考えのようです。現に7割から8割の方、高齢者というのは何かに携わりたい、ボランティアに携わりたいというアンケートの結果もありますので、そこをうまく利用していかなければいけないだろうという話です。

○会長

他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○会長

今の質問で重要な部分に触れたような気がいたします。

質疑がないようですので、本件についてはただいまの説明のとおりといたします。地域包括支援センターの職員の皆さん、ありがとうございました。

【地域包括支援センター東部職員 退席】

○会長

それでは、次に「平成28年度地域枠予算執行事業」について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【地域予算活用事業実績報告及び平成28年度地域予算執行事業について、配布資料に基づき説明】

・実施類型Ⅰ型

1. 「花のまち太田」推進事業

事業目的：大台スキー場ゲレンデにチューリップの球根を植え、「花のまち太田」の推進・PRと合わせて、太田黄桜まつりをはじめとした春先にかけての「観光スポット」を作り、太田地域への来訪者の増加を図るもの。

申請団体：太田支所地域活性化推進室

申請額：126,754円（消耗品費、使用料及び賃借料）

2. 太田地域PR半纏作製事業

事業目的：大仙市内や太田地域内で開催される各種イベント等において、関係者やスタッフが着用する半纏を作製するもの。9月の「ねんりんピック秋田2017グラウンド・ゴルフ交流大会」の開催を控え、全国から訪れるプレーヤー等に太田地域をPRする絶好の機会であることから、作製するもの。

申請団体：太田支所地域活性化推進室

申請額：261,360円（備品購入費）

・実施類型Ⅲ型

1. 太田の紙風船継承事業費補助金

事業目的：地域に古くから伝わる小正月行事である紙風船上げが衰退することのないよう、太田地域内の各小学校や各種団体に紙風船づくりの技術を伝え、住民が地域の伝統文化の必要性・重要性を再確認し、次代に継承する事業に対し補助を行うもの。

申請団体：太田町連合青年会

申請額：85,000円（補助金）

2. ウィンタースポーツ活性化事業費補助金

事業目的：太田地域の特色の一つである「大台スキー場」をより一層利用していただけるよう、スキー大会やスノーボード教室などのウィンターイベント等を通じて地域内外の交流を促進するために購入するビブス（ゼッケン）の購入に対し補助を行うもの。

申請団体：おおたスポーツクラブ

申請額：171,000円（補助金）

○ちっちゃいもの倶楽部男鹿

【平成28年度地域予算執行事業について、配布資料に基づき説明】

・実施類型Ⅲ型

1. インターネットを活用した太田町（体験記、農産物等）紹介事業費補助金

事業目的：太田地域で開催されるイベントや体験、施設、農産物や加工品の情報などを一括してインターネットで紹介・公開し、太田町の魅力を市内外の多くの方に知ってもらうことを目的とした事業（紹介記事の作成や取材等）に係る費用の一部を補助するもの。

申請団体：ちっちゃいもの倶楽部

申請額：300,000円（補助金）

○会長

ただいま、男鹿さんの方からご説明がありました。ただいまのちっちゃいもの倶楽部の「インターネットを活用した太田町（体験記、農産物等）紹介事業」について、お聞きしたい点がありましたら、ここでお願いいたします。はい、水谷委員。

○水谷委員

インターネット上にインデックスを作成ということで、載せるジャンルとかそういうのはあるのでしょうか。範囲というか。

○ちっちゃいもの倶楽部男鹿

一応タイトルに載せさせていただいているんですけども、そういう体験ができるものの体験記とか、農産物なんかの紹介も、今の冬の時期ですね、ハウスをやっている方もいらっしゃるんで、そういうのも取材を少しできればいいなと思っています。

○水谷委員

リンクというのは他の業種でもいいんですか。例えば秋田の酒とかそういうのを載せたりというのは可能なんですか。いわゆる太田の魅力を町内外にアピールするということなので、そういう農業以外のものというか、例えば真木とか、そういうふうな感じのもの。

○ちっちゃいもの倶楽部男鹿

もちろん載せられるものは全部載せていきたいなと思っているんですけども、さっきちょっと言い忘れたんですけども、今この時期に、かなり期間が短い時期に申請させていただくんですけども、冬のものって今しか撮れないと思うので、冬の紹介できるものを撮りたいなと思って今申請させていただくんですが、できれば春から秋にかけてのものをまた来年度の申請でさせていただければいいなと思っています。山も登れるということのももちろんあるんですけども、太田の魅力だなと思えるのはそういう自然もですし体験できるものもですし、人というのももちろん魅力の一つだと思うので、載せられるもの、協力いただけるものでしたら何でも取材したいと思っています。

○会長

他にありませんか。はい、大信田委員。

○大信田委員

今説明を聞きまして、まず太田のいろんな情報をインターネット上で発信していくという部分については、太田を良く知ってもらい、いろいろ太田に関心を持ってもらうという部分からしても本当にいい事業だなと、そういうふうに思いました。

それで、ちょっと質問といえば質問なんですけれども、「ちっちゃいもの倶楽部」という名前の由来みたいな部分があれば教えてもらいたいということと、今の説明の中でモデルさんを採用してというか、そのモデルさんというのは太田の人なのか、いわゆるプロみたいな人なのかという部分を教えていただきたいということと、例えばいろんな事業をやっていく上でスタッフというのは何名くらいおって、いろんな専門分野とかどういふふうな分担の中で活動していこうとしているのか、その辺ちょっと教えていただければと思います。

○ちっちゃいもの倶楽部男鹿

1つ目はちっちゃいもの倶楽部の由来ですね。自分たちは馬との触れ合いをメインでやっていて、その他に環境教育だとか森づくり活動、それから障がい者乗馬なんかもやっているんですけれども、そもそもの馬を使った活動の中で、小さめのポニーを使っているんですね。小さいと言っても背の高さが1メートルくらいあるんですけれども、馬に関わっていない方は大きいねと言うんですけれども、私たちはすごく小さい馬だと思っていて、それでちっちゃいもの倶楽部という名前を付けたのが最初です。

モデルさんは広報とか口コミとかで募集したいと思って、一般の方です、プロの方とかではありません。ただ、ちょっと期間が短くなってしまったので広報での募集が間に合うかどうかはちょっと自信がないんですけれども口コミとかで、もちろん地元の方とかグループとかで参加したいと言ってくれる方がいればもちろんですし、できれば広報も兼ねて大曲とか秋田の方からでもやりたいという方がいれば口コミお誘いできればいいなと思っています。

スタッフなんですけれども、一応専門的な部分は夢工房さんからお願いしてもらおうと思っているんですが、翻訳と撮影と取材と。専門的な部分では多分4、5名の方に関わってもらおうと思います。その他、日程の調整とかお願いとかは私たちの方でやろうと思っています。

○会長

他にございませんか。

○支所長

すみません、ちょっと補足で説明してもらいたいのは、更新していくときはどうやってしていくのか説明していただければ。いつも同じ画面ではないだろうし、やっぱり活動していくことによって増えていきますよね。その更新は常に夢工房さんでお金をかけていくのか、自前でやっていくのかというところ。

○ちっちゃいもの倶楽部男鹿

ホームページ自体はガッツリしたホームページを作るわけではなくて、本当に目次程度のもを予定しているので、追加とか削除とか変えていく分には私たちでも十分できるものを作る予定です。記事の内容の更新についてはある程度アクセスが見込めて広報効果が出てくれば、広報したい方にスポンサーとか、例えば記事の下にスポンサー広告を付けるとかの方法で継続してやれば良いなと思っているんですけども。もちろん地域の事業者さんにその記事のスポンサーになってもらうという形になると思います。

○会長

他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○会長

他になれば、ちっちゃいもの倶楽部の男鹿さん、本当にお忙しい中ご説明ありがとうございます。審査の結果については、後日お知らせいたしますので、本日はこれで終了いたします。

【ちっちゃいもの倶楽部男鹿 退席】

○会長

引き続き審査を行います。

それでは、今までの事業に関して一括して皆さんからご質問・ご意見を承ります。よろしく願いいたします。はい、大信田委員。

○大信田委員

ちょっと確認ですけれども、最後のウィンタースポーツ活性化事業の部分で、3ページのところに事業の内容、いつどこで何を実施するかという部分で、2018年から2019年のシーズン事業予定というふうなことで、今年度の事業でない事業内容になっているのはちょっとおかしいなと思って質問させていただきました。

○支所長

大信田委員のご質問にお答えします。事務局で間違っただけです、2017年からと

ということです、すみません。

○会長

訂正のようです。他にございませんか。はい、水谷委員。

○水谷委員

花のまち太田推進事業についてなんですけれども、大台山にチューリップということで、太田をアピールするにはやっぱり大台山が一番いいのではないかなと思っていました。仮にこの植栽、多分これ面積にしたら少ないと思うんですけれども、仮にこの近くに自分の部落でこれだけ植えたいなんていうような、そういうふうな人がもしいた場合、そういうのは可能ですかね。

○支所長

お答えいたします。それは可能だと思います。市の財産ですので、やっていただけるのであれば、予算は付かないまでも。植栽場所の下の方、ロッジから植栽場所の辺りには菜の花の種をスキー場で1回、動噴で蒔きました。ただ、春どれだけ咲くかはちょっと定かではないんですけれども、来年の咲き方も見ながら、また今の植栽場所も多分なかなか、球根の数の割にはそんなに広くないので、ご提案があればこちらでは考えますので、ひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。花に関してはかなり見に来る方々がたくさんおりますので。

○会長

他に。はい、富木委員。

○富木 勇委員（以下「富木委員」と表記）

今の花のまち太田推進事業の関連ですけれども、このチューリップは植え方とかデザインとか色とかは何かあるものでしょうか。

○支所長

お答えいたします。色ごとに列を作って植えました。買った球根に間違いがなければその色のチューリップが咲くと思ひます。赤、黄、桃、紫だったか、2列、3列くらいずつに9段植えさせていただきましたけれども、ただ実際にそれが全部咲くか咲かないかは春になってみないと分からないということです。一応その列ごとには植えさせていただきました。

○富木委員

今の水谷さんの意見の中で、一緒に参加したいなというときに、色とか何とかというような規制があるようであれば、逆にこうやってみんな各集落でやりたいとか、そういう

ことがあればまたそれについてもこのような方法でとか、色とかそういうものも考えておるようであればと思ひまして。

○支所長

最初、列ごとに植えたほかにチューリップで太田というマークを作ろうかと思ひましたけれども、あまりにも地面が固くて、バックホーも1日しか借り上げていなかったのも、それをやるためにはスコップではちょっと歯が立たないような状態です、ゲレンデがあまりにも締まっています。バックホーで掘りながら植えていったということなので。いずれデザイン的には私たちの場合よりももしかすれば皆さんからいろいろ提案されたものに対して、春1回それを見ていただいて、いろいろなご意見があるでしょうから、それを受け取りながら、機械も多分必要だと思うので、そのデザインをやるためには何日くらいかかるのかということもあるでしょうから、そうなるからまた一緒に考えていきたいと思ひますけれども。

○会長

他に。はい、大信田委員。

○大信田委員

来年になってみないとうまく咲くかどうか分からないというふうな説明がありましたけれども、例えばこれを毎年継続してやっていくためには、咲き終わったあとの球根の扱い方とか、そういう部分にもかなり経費というのか、人件費もかかるだろうし、ずっと長い目でやっていく気持ちの中で今回スタートしたのかどうかという部分と、将来に向けてチューリップだけではなくいろんな花を取り入れた、そういう取り組みも考えているのかどうかも知りたいです。

○支所長

お答えいたします。将来に向けて、要はゲレンデを北海道の富良野みたいにという壮大な第一歩を目指してやりたいなど。元々はあそこは牧草地帯でしたけれども、最近の減反とほ場整備が進んでいった中で牧草の方もゲレンデ部分に植えなくてもよくなったので、その活用としてお客さんを呼ぶとすれば斜面いっぱいには花を、水仙も若干植えてみましたし、チューリップを植えたし、菜の花というふうなことで、将来的にゲレンデを花でいっぱいになればお客さんも来るのかなという目標は持っていますので、どうかひとつ皆さんのお力を今後お貸しいただければと思ひています。

○会長

他にございませんか。はい、高橋委員。

○高橋 洋委員

この事業は今年度はもう植えてしまったということなんですけれども、来年度もし植えるときはいろいろなところに声をかけて、広報とかでお知らせしてやるとかという方法を考えているのかということと、さっきの水谷委員の話にもあったように学校の生徒から関わってもらってやるという方法も考えているのかということ。あともし公募でやってもらうのであれば、グラウンド・ゴルフのイベントというか、そのあとはグラウンド・ゴルフで楽しんでもらうとか、そういったことを考えていらっしゃるかなという部分でちょっと提案です。

○支所長

ありがとうございます、貴重なご意見。是非ともそのような方向へ進みたいと思います。何分にも広大な面積ですので、人は何人いても構わないと思うので、できれば4月以降も皆さんのご意見を聞きながらやっていきたいと思いますので、なんとかよろしくお願ひしたいと思います。

○会長

皆さんから本当に貴重な意見がありました。他にございませんか。

○支所長

事務局から。今のちっちゃいもの倶楽部さんの説明の中で、聞けなかったこととか何かあれば。

○根本 昇委員

会員数はどれくらいで活動されているんですか。

○支所長

10人で活動しているそうです。

○会長

他にございませんか。はい、高橋委員。

○高橋 洋委員

この照明というのは、持ち運びの照明ということなんでしょうか。

○支所長

この値段からいって、おそらく簡易的に持って行けるものだと思いますけれども。

○会長

他に。はい、高橋委員。

○高橋文字委員

ちっちゃいもの倶楽部さんなんですけれども、ネットということなんですけれども、動くような映像なのか写真で見せるのかということと、この方が太田町をすごく、ネット上で魅力を伝えるということなんですけれども、この方は何をこれで得るんでしょうか。

○支所長

良く解釈すれば、とにかく太田町を愛していてアピールしたいということなのかなとは思いますが、あとは伊藤委員に聞いてもらえれば、プロなのでもしかすれば伊藤委員の方から補足説明、この値段でそういうのができるのかということも含めてなんとかお助け願えれば。

○伊藤勝良委員（以下「伊藤委員」と表記）

この件についてはちょっと前に聞いたことがあって、いろいろ体験型とかやっているところがあるんですけれども、ホームページ上に何も情報がないので、電話番号はチラシに付いていたりするんですけれども、そのチラシもその場所で手に取らないことには電話番号なり問い合わせ先が分からないので、そういうホームページを作っていない方の情報もそういうところに載せてインターネットを通じて問い合わせを受けて、そういう体験のところを誘導してお客さんを増やすというような目的だということでも聞きました。

動画とか、そこは作り方はいろいろできると思いますけれども、まず今この感じだとインデックスということなので、各団体を紹介する窓口ということなので、ちょっとどこまで考えているかは分かりませんが、作るにはどっちでも作れるんですけれども、動画を作るとなればけっこう人件費とかかかると思いますので、そこら辺どう考えているかは、そこまではちょっと分かりません。ただ、掲載するのは別に、ユーチューブとかに動画を公開してリンクを付けるというだけでできるので、あとはどこまでやるかということだと思います。

○支所長

ありがとうございます。私たちもインターネット、ホームページ、そんなに詳しくなくて。もし疑問・質問とかがあれば、こちらで今出してもらったことで文書で質問して1回答えてもらうということもありかなとは思っています。

○大信田委員

さっきはちょっとしゃべりにくかった部分があったんですけれども、例えば太田のいろんな産業や観光、いろんな部分を紹介してもらえるのは本当にいいことだと思うんですけれども、例えばその内容が間違った情報とか、いろんな部分がもしかすれば発生しやすいとか、そういうことのチェックを、例えば町全体のいろんな行政なり、町の全体的な事業なりをやっている中で、そういう情報を流し込む中でももしかすれば全然違う内容とか

情報が出て行ってしまう可能性もあるので、その辺のチェック体制をどう考えているのかなというふうにちょっと思いました。

○支所長

大変貴重なご意見ありがとうございます。そういうことも多々あるかと思えます。どこでチェックするのか、自分たちだけなのか、市から見てもらうのか、情報を載せるところから見てもらうのかというのもあるので。極端ですけれども、これは今やらなくても4月以降でも十分できる事業なので、皆さんから出してもらった意見に対してきちんとした明確な答えをもらってからでも。これ今却下になれば駄目だというわけではないと思うので、29年度事業でも十分できる事業だと思うので、28年度事業でやらなくても、とは思いますが、こちらとしても確かに。あとは委員の皆さんのご判断にお任せする部分はありますけれども。

○水谷委員

私もちょっとよく分からなくてなんですけれども、今のチェック体制のこともなんですけれども、補助金をもらってやった場合、ある程度公共的なものになるんでしょうか。どういう扱いになるんでしょうか、このホームページは。

必要なのは必要だなとは思いますが。インターネットを見ていてもやはり太田というのはそんなに出てこないの。ただ、公共的な感じになるのと個人的なものということで、かなりチェックしなければ駄目なのか、しなくてもいいのかというふうなこととか、さっき支所長が言われた更新料、これからホームページは継続的にお金がかかっていくと思うんですよ。そういう点で、1発目だけ補助金を出して、あとは個人でやってもいいというふうになるのか、そこら辺ってけっこう大事なところなんじゃないかなという感じがしますね。

○会長

審議の途中ですけれども、一旦休憩します。

(午前11時27分 休憩)

(午前11時34分 再開)

○会長

それでは、審議を再開いたします。

皆さんからご質問・ご意見ございましたら、お願いいたします。ございませんか。

(「なし」の声あり)

○会長

ないようです。これで質疑の方は終了させていただきます。

それでは、皆さんにお諮りいたします。はじめに、「花のまち太田」推進事業」について、地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。承認いただきました。

続いて、「太田地域PR半纏作製事業」について、これも地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。承認いただきました。

続きまして、「インターネットを活用した太田町(体験記、農産物等)紹介事業費補助金」について、地域枠予算事業として承認いただくか、今回はいろいろ詳しいことがまだ分かっていないので承認できないという形にするか。先ほど皆さんの方から意見がありましたけれども、これについて今回は時期尚早という形で承認できないという形でよろしいですか。先ほどの意見の中からははっきりと言えない部分があるでしょうけれども、見えない部分としてこの公費を使うという形に関しては今回は承認いただけなかったという形にしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

今回はこの件に関しては承認しないことといたします。

次に「太田の紙風船継承事業費補助金」について、地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。ご承認いただきました。

追加提案のありました「ウィンタースポーツ活性化事業費補助金」については、地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。1つが承認いただけなく、あとは全て承認いただきました。地域枠予算執行事業の協議に関してはこれで終わらせていただきます。

次に、次第の6の「報告」に入ります。はじめに、「太田地域協議会委員（第4期）の選任」について、事務局の方から説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【太田地域協議会委員（第4期）の選任について、配布資料に基づき説明】

○会長

ただいま「太田地域協議会委員（第4期）の選任」について、事務局の方から説明がございました。

皆さんからご質問・ご意見ありましたら、お願いいたします。

(「なし」の声あり)

○会長

質疑ないものとして、現在1期の皆さんにはご難儀をかけますが、引き続き4月からの再任につきまして、どうかよろしくお願いいたします。

次に、「平成28年度東部地区地域協議会合同研修会・交流会」について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【平成28年度東部地区地域協議会合同研修会・交流会について、配布資料に基づき説明】

○会長

ただいま「平成28年度東部地区地域協議会合同研修会・交流会」について、説明がございました。

本件について、ご質問がありましたら、お願いいたします。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○会長

ただいま説明がございましたが、大変お忙しい中ですのでけれども、皆さんどうかご出席の方よろしく願いいたします。

次に、次第の7の「その他」に入ります。委員の皆さんから何かございませんか。はい、高橋委員。

○高橋 洋委員

先ほどのちっちゃいもの倶楽部の件は、そうすれば再度提出してもらう形にするのか、それとも不承認ということで今回で駄目だということで決断を下していくのか、どういった形になるのでしょうか。

○支所長

疑問に対してはあちらも答えたいでしょうから、1回質問を出して、28年度でなくても29年度でも申請はできるので、それに対してまた開くということで、そこで決定することではいかがなものでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

今回提案されたものに対しては不承認という形にして、その理由とか、こういった質問が出ましたというのは向こうに送ってやることなので、それを踏まえて再度出させていただく分には問題はありません。ただ、時期的に来年度になってしまうとは思いますが。

○鈴木栄子委員

そうすれば、結局保留という形ですか。

○支所長

今回の内容については不承認でしょうけれども、こういう理由で不承認ということで再度疑問を解決するようなものを付けて再申請は別にそれは。ただ、3月には地域協議会をやる予定ですので、そこでは日にちがないので多分できないと思います。だから、もし申請するのであれば新年度に入ってしまうということになります。

○会長

この会としては、ここに上がってきたものを審査するという事なので、個人としてはいろんな応援の仕方があるでしょうけれども、立場としてはそういう形になるんですかね。他にございませんか。はい、伊藤委員。

○伊藤委員

去年は熊の出没がけっこうあって、ちょっとジョギングとかで向こうに行こうかなと思っても怖いからやめようと思ったんですけども、大台に花とか植えているんですけども、熊が出るとちょっと、せっかく植えても怖くて行けないとかということになるんじゃないかな。

ないかなと思います。前は檻を準備したりとかあったと思いますけれども、そこら辺熊の対策とか考えているものかどうかちょっと教えてほしいんですけども。

○煤賀農林建設課長

答えになるか分かりませんが、大台の花を植えたところの熊対策というのは今のところ全然考えていません。一般的に熊対策というのは、情報をもって猟友会の方から駆除してもらったり警戒に当たってもらったりという形で対応しています。その中で、太田に檻が2つありますので、頻繁に出るようであれば檻を仕掛けて捕獲するといった形で駆除しているところです。いずれ情報をもってからという形になっている対応です。

○伊藤委員

やっぱり出ると怖いので、いい対策があればいいなと思ってでした。

○煤賀農林建設課長

なかなかいい対策がないといった状況で、まず注意してもらおうと。いずれ山に入る人たちは鈴を付けたり、音を鳴らしながらという形で対応しているのが一般的です。特に去年は多かったんですけども、熊も時期的に出る時期と出ない時期とありますので、その辺は情報を聞きながら十分注意してジョギングしてもらおうという対応しかできないので、よろしくをお願いします。

○谷口市民サービス課長

話によれば早朝が多いらしいとか。夏場だと朝4時とか5時とか。

○煤賀農林建設課長

一般に夜行性なので、日中見えるやつは山に帰り遅れたやつかも知れません。大体発見されるのは朝方です。夕方道路を横断して来たやつもいますけれども、情報をもって行ってもほとんど見つからない、黙ってそこにいるわけではないので。ですので、広報車で注意を促すようなことしかできなくて、あとは気を付けてもらうしかないです。

○会長

よろしいですか、なかなか難しいようですが。
他にございませんか。はい、高橋委員。

○高橋 洋委員

さっきの花のまち太田推進事業に絡んだ話なんですけれども、黄桜に関して噂話でせっかく良くなってきたのに剪定されすぎてという、私は確認していないんですけどもそういった話がちょっと聞こえてきたので。

○谷口市民サービス課長

剪定しなければならぬとは思っていますけれども、実際手を加えてはいないです。皆さん行っていただければ分かると思いますけれども、剪定もさることながら今で木と木の間が近くなってしまっていて、植えるときは離して植えたんでしょうけれども、今では枝振りが良くなってきていて。1本くらいずつ間引いた方がもっと良く咲くのかなといった気がしていますけれども、もし間引くとなれば多分木1本当たり、根っこごと養生してとかとなれば1本につき数十万円かかりそうです。となればちょっと無理だなと。あそこに600本くらいでしたか、ありますので。個人的には間引いて今度は東の方へ植えればいいとは思っているんですけども、そうなればお金もありませんので東の方へ今から桜の苗木を植えて、こちらの大きくなったものは時々、1本おきくらいに切ってしまうとか、そういったことをやっていかなければならないのかなと。実際冬の雪で折れた枝なんかは整理していますけれども、剪定はまだしていません。去年あたりは別に問題なく良く咲いています、写真もたくさん撮っていますけれども。

○会長

よろしいですか。他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○会長

なければ、事務局の方から何かありますか。

○事務局（地域活性化推進室）

【次回の太田地域協議会の開催日程等について報告】

○会長

ということで、最後の協議会はどうかよろしくお願ひいたします。

本日の地域協議会はこれをもちまして閉会といたします。長時間ありがとうございました。

(午前11時56分 閉会)

太田地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

高橋文子

水谷英明
